

日本原子力学会 標準委員会
基盤・応用技術専門部会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会
第2回 議事録

1. 日時：平成26年7月4日（火） 10:00～12:00
2. 場所：日本原子力学会本部 会議室
3. 出席者：（9名：敬称略、順不同）
木村（主査、フジタ）、中田（副主査、MNEC）、坂本幸夫（ATOX）、石川（CTC）、月山（日立GE）、坂本浩紀（トランスニュークリア）、上松（東芝）、廣内（東芝）、尾方（MHI）
4. 配付資料：
 - SMA2-1 基盤・応用技術専門部会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会 第1回議事録（案）
 - SMA2-2 遮蔽材料組成
 - SMA2-3(1) 遮蔽材料組成データの標準化に関する計画（案）その2
 - SMA2-3(2) 遮蔽材料組成データ標準化に関する計画（案）その5 標準コンクリート組成の検討
 - SMA2-4 現在日本における放射線遮蔽に係る平均（標準）コンクリートの組成
 - SMA2-5 NIST:X-Ray Mass Attenuation Coefficients-Reference
 - SMA2-6 遮蔽計算に用いる主要な遮蔽材の組成データについて
 - SMA2-8 メール
 - SMA2-9 汚染土壌の除染領域と線量低減効果の検討
 - SMA2-11 実効線量評価のための光子・中性子・ベータ線制動放射線に対する遮へい計算定数
 - SMA2-12 上部しゃへい体及び側部しゃへい体の物質及び厚さ
5. 議事
 - ・ 一般に使われているコンクリート組成を基に遮蔽計算コードで感度解析を行うために、各社が使用しているコンクリートを含めた主要な遮蔽材の組成データを提示して頂いた。コンクリート組成の差のみを見るために、水分量や密度を合わせたい旨の意見が出て、提示したデータから、乾燥状態（絶乾状態）にした組成データを作成し、すなわち水素（及び酸素）を何らかの形で差し引いた状態で統一することとした。
 - ・ コンクリート組成の差のみに着目して評価するために、提示されたデータから、自由水を差し引いたデータを作成・提示することにした。

- 計算コードは ANISN、体系は球形状、バージョンは別途協議する。ライブラリについても別途協議する。

次回作業会： 8月29日（金）予定、場所未定

以 上